クリニカルパスウェイ
肝生検を受ける患者さんへ

平成28年4月作成
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　**患者氏名**　@PATIENTNAME

	外来・入院前	入院日～治療前日	治療当日	治療後1日	治療後2日～退院まで	次回外来までの 退院後の生活
日時	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日～　月　日	
目標	□治療を理解し、準備ができる	□治療の準備を整えることができる	□安全に検査ができ、合併症を防げる	□安静を保ち、合併症を予防できる	□合併症についてわかり、生活の注意がおこなえる	□生活の注意点が分かり、療養ができる
食事		□状態に応じた食事となります □前日夜9時より食事禁止となります 	□状態に応じて夕食がでます	□医師からの指示がない場合は、特に制限はありません 	□通常の食事となります	□特に制限はありませんが、バランスの良い食事を心がけてください
活動	□風邪をひかないように、怪我をしないように注意してください	□特に制限はありません	□術後3時間は絶対安静 □術後6時間までは寝返りのみ □術後6時間以降は状態に応じトイレ歩行のみ可能となります	□肝臓への血流を安定させるためになるべく安静にしてください	□汗をかくような運動は避けてください □なるべく安静にし、肝臓への負担を少なくしましょう	□身体に負担がかかるような激しい運動は控えてください
検査処置	□外来でCT・エコー・MRI・採血など諸検査をおこないます	□状態に応じ、採血・CTなどの検査がある場合があります		□状態に応じ採血、レントゲンなどをおこないます □上腹部の針を刺した部分を消毒します	□上腹部の針を刺した部分を消毒します	□今後外来にて定期的に採血、CT、MRI、エコーをおこなっていきます
薬	□治療に対し休薬が必要な薬剤は、医師より説明があります ・薬剤 （　　） ・日時 （　　月　　日　より）	□薬剤師が監査をおこないますので提出してください □中止薬の確認をおこないます	□中止薬剤がある場合は看護師より説明があります。それ以外は通常通りの内服になります □輸液、止血剤、抗生剤の点滴があります	□状態に応じ止血剤、抗生剤の点滴があります 	□状態に応じ止血剤、抗生剤の点滴があります	□内服は継続し、飲み忘れがないように注意してください
清潔			□入浴、シャワー浴は禁止となります（治療後2日目よりシャワー浴可となります）	□清拭のみとなります	□状態に応じシャワー浴可となります 	□身体を清潔に保ちましょう、長風呂や熱いお風呂は体に負担がかかるので控えましょう
指導説明	□医師より治療の説明、同意書が渡されます □グリーンカウンターにて看護師より入院の説明や患者さんについてのお話があります	□看護師より再度検査についてや治療の流れについて説明があります	□治療後の安静は、寝返りを打たない、起き上がらないです □安静中の排尿・排便はベッド上にて尿器、もしくは差し込み便器となります、治療前に確認できます □治療後はストレッチャーにて帰室します □痛み時は点滴による痛みどめを使用します	□治療により熱が出やすい状況です 発熱時は解熱剤の点滴がありますので看護師へ伝えてください □痛み時は点滴による痛みどめを使用します □身体の抵抗力が弱まりますので、マスク・手洗い・手の消毒を心がけてください	□退院後の生活の注意点などの説明を看護師よりおこないます □医師より治療の成果や今後の治療についての説明があります 状態に応じて入院を継続し、治療を継続していきます	□入院中、外来、いつでも質問にお答えします 少しでも質問や疑問がある場合はご相談ください □ふらつきや黒い便が出た場合はすぐに受診してください